

+++++  
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 69 号 2020 年 8 月 26 日発行  
+++++

東京には5種の蝉、ニイニイゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクホウシがいます。梅雨が長かった今年あまり時間差のすみわけもなく、一斉に鳴いています。早朝の散歩で、励まされては暑い一日を過ごしています。東京から出ることを遠慮していましたが、久しぶりに野良仕事の手伝いで藤野に行きました。炎天下の作業は嫌いではないですが、それなりにきついです。皆様も暑さにも十分に注意をしながら、どうぞお大事にお過ごしください。

### ○お知らせ

1. 東京学芸大学のコカ・コーラ（アメリカ）プロジェクトに関連して、雑穀発泡酒ソビオ・ピーボの復活をする提案が南先生からあり、藤野の宮本さんの栽培するキビやホップを使って、藤野のクラフトビールを造る山口さんに協力いただけるように、願っています。8月25日に、宮本さんの雑穀畑に網かけをしました。キビもホップも良く育っています。写真は下記サイトに載せました。秋になったら、山口さんにもお会いしたいと思います。

[www.milletimplic.net/weedlife/flowers.html](http://www.milletimplic.net/weedlife/flowers.html)

2. 植物と人々の博物館をめぐるミュージアム研究会、雑穀街道普及会などの在り方を検討しています。8月25日に、事務局の黒澤さん、宮本さん、木俣で現状認識について意見交換をしました。本年内を目標に植物と人々の博物館の在り方について関係者の方々にご相談します。

3. **日本雑穀協会の視察**：9月14日に雑穀協会と岩手県の方が西原の冨澤さんおよび藤野の宮本さんの畑を見においでになります。

○予定：ヴァイラス感染が小康状態になったら、資料整理や雑穀見本園の草取りに行きます。

#### 1. 植物と人々の博物館

1) **開館・作業予定日**：2020年8月は引き続きヴァイラス対策のため休館します。

2) **雑穀の種子継**：小菅の畑には行けませんので、秋子さんが種継をしてくださっています。小金井でも、プランタで栽培して種継をしています。生育状況は上記サイトで見せています。

3) **民族植物学ノオト**：第14号に、植物と人々に関する随筆など、ご寄稿を歓迎します。電子出版ですからカラー写真も大丈夫です。年内にご原稿を頂ければ嬉しいです。今号に、編集子は山村について分析、熟考したエッセイ2編を載せます。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（下記：ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも収録されています。バックナンバーは僅少ですが、希

望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。

[www.ppmusee.org/goods.html](http://www.ppmusee.org/goods.html)

4) **電子書籍**：植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）に電子書籍の項で読めます。これらは国立国会図書館のeデポに登録され、公開されています。

降矢静夫師（俳号光岑）の雑穀栽培を通じた人生哲学を深く学ぶために書簡のテキスト分析をしました。山村の自然をこよなく大事になさっていたことが浮き彫りになりました。書簡は個人情報削除して公開しました。20世紀後半の山村農のとても良い農事記録としてとても貴重です。対談テープ（木俣宛 20 本余）もすべてデータベース化作業を進めており、これらを基に『山村農人の教養』として一文をまとめます。

[www.milletimplic.net/forestvil/furuyaletters.pdf](http://www.milletimplic.net/forestvil/furuyaletters.pdf)

『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』『日本雑穀のむら』は一部公開、改訂しています。赤石山脈周辺の雑穀の変異と系統について、植物学データの解析が出来ましたので、実験材料を収集して下さった川上さんに見て戴いて文章を修正し、第五章中部・北陸地方の雑穀文化複合の補論5として公開します。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”は9月には一部公開を始めます。

#### 5) 森とむらの図書室

**寄贈冊子**：お米の勉強会会報、クリンネス、現代農業、うかたま、季刊地域、グリーンもあ、グリーン・ウォッチなどをありがたく頂いています。会員雑誌：雑穀研究、環境文明21会報（学協会は退会しました）。

6) **エッセイ「超克 1~3」**：現代人の心の構造と機能について考察をしています。東京大学科学哲学講座の院生 N さんのブログで、編集子が学部生の時に読んだホールデンの全体論や動的平衡論、ステビンスの顕花植物の進化を思い出しました。45 年以上前に院生や助手仲間で種生物学の読書会をしていた若い頃を思い出し、学問に真摯な優秀な若者が科学哲学を幅広く研究していることを頼もしく思います。

[www.milletimplic.net/essey/essey.html](http://www.milletimplic.net/essey/essey.html)

今月の推薦図書：井上荒野 2019、あたしたち、海へ、新潮社、東京。

スコット, J.C. 2009 (佐藤仁監訳 2013)、ゾミア—脱国家の世界史、みすず書房、東京。

J.Cain and M. Ruse ed. 2009, Descended from Darwin – Insights into the History of Evolutionary Studies, 199-1970, American Philosophical Society, Philadelphia, USA.

7) **メンバーリストの整理**：実態に合わせるようにとりあえず整理します。将来計画はいずれご相談します。

## 2. 雑穀街道普及会：

遠くアフリカなどから極東にまで伝播してきて、縄文後期以降、この島嶼に住む人々の命の糧であった雑穀、日本における伝統的な雑穀栽培は今にもいよいよ絶滅しそうな状況にあります。山村農人・降矢静夫さんは92歳余まで、人生の楽しみと誇りとして雑穀栽培普及

に尽くされました。雑穀農耕文化複合は日本の山村が世界に誇る生きた文化財として継承すべきです。雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録申請する提案普及を続けます。広い心をもって、個人も地域社会も全国へ、さらに世界の起源の地にまで街道を繋げて行ってほしいです。2023 年は国際雑穀年になります。ぜひ、賛同者リストに加わって下さり、提案が広がるようにご援助くださいますよう、世界、全国各地からのご連絡を宜しく願います。  
\* 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

なお、45 年間、調査研究してきた『日本雑穀のむら』第 3 章関東地方・第 4 章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。第 5 章中部・北陸地方を整理しています。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/milletsn/jnmpilvil.html>

#### ○ お知らせ 関心のある団体から

皆様方は既に予感しておいででしょう。これからは一層厳しい時代に入るのでしょうから、家族を守るために本気で心して自給知足の努力や食料備蓄を心掛ける必要があると思います。家族の食べ物は自分たちで得ること（生業）が原則で、足りない食べ物を分けていただいていること（農林漁業）に感謝したいです。すべて消費、廃棄だけでは、生き物の文明、素のままの美しい暮らしには添いません。専任研究員は、日本国憲法に環境原理、生業の自由、食料主権などを明文化する提案をしています。国民・市民は自分たちを守るための条文を憲法に明記するように考える必要があります。既にいくつかの国々では明文化されています。

トランジション・ジャパン

ご関心の方は参加ください。エコミュージアム日本村（トランジション小菅）もネットワークに参加しています。また、研究員はトランジション小金井（TTK）の会員でもあります。家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン（国連家族農業の 10 年）

ご関心の方は是非ご入会ください。研究員個人として賛同し、会員になり、ホームページに意見を掲載していただいています。農水省基本方針改訂へのパブリックコメントにも掲載されています。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

連絡先は下記です。

E-mail: [info@ffpj.org](mailto:info@ffpj.org) URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/> Twitter: @FFPJ2019

~~~~~

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）、川上香（長野）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

